

決算報告書

第2期事業年度

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

独立行政法人 国立高等専門学校機構

平成17年度決算報告書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位: 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	69,949	69,949	—	
施設整備費補助金	1,147	9,416	8,269	(注1)
施設整備資金貸付金償還時補助金	4,950	14,851	9,901	(注2)
自己収入	13,049	13,220	171	(注3)
授業料及び入学金検定料収入	12,567	12,719	152	
雑収入	482	501	19	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,118	1,876	758	(注4)
計	90,213	109,312	19,099	
支 出				
業務費	82,997	82,849	148	(注5)
教育研究経費	68,010	65,353	2,657	
一般管理費	14,987	17,496	2,509	
施設整備費	1,147	9,416	8,269	(注6)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,118	1,819	701	(注7)
長期借入金償還金	4,950	14,851	9,901	(注8)
計	90,212	108,935	18,723	

予算と決算の差異について

(注1) 前年度からの繰越事業及び17年度補正予算による追加事業等があったため、予算額に比して決算額が多額となっている。

(注2) 17年度補正予算による追加措置があったため、予算額に比して決算額が多額となっている。

(注3) 授業料及び入学金検定料収入について、学生の確保に努めたこと等により、予算額に比して決算額が多額となっている。

(注4) 受託研究、共同研究等外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が多額となっている。

(注5) 業務費については、退職金が予定額に比して実際の支給額が少額であったことから、予算額に比して決算額が少額となっている。
また、計上区分の整理を行っている。

(注6) 注1に示した理由により、予算額に比して決算額が多額となっている。

(注7) 注4に示した理由により、予算額に比して決算額が多額となっている。

(注8) 注2に示した理由により、予算額に比して決算額が多額となっている。